

令和3年度学校評価報告書（全日制）

令和4年（2022年）3月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌東高等学校長 田 尻 勝 敏

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

（１）スクール・アイデンティティの具現化 （２）教育活動の改善・充実と教職員の学校経営参画意識の高揚 （３）「働き方」改革の推進と危機管理体制の整備
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- 各種テストの分析に基づく生徒一人一人の課題に即した学習指導を充実させる。 - 授業改善・充実のため、生徒による授業アンケートの活用方法について検討する必要がある。	- 新型コロナウイルス感染症への対応が、オンライン授業の質を向上させ、積極的な活用を見出しす方策に共感する。 - 個々の表現力や意見を述べる力を向上させる指導を引き続き継続して欲しい。
改善方策	- 授業アンケートの活用方法、授業研究週間のあり方について検討する必要がある。 - 教科内での情報共有だけではなく、学校全体での情報共有体制を構築する。 - 大学等をはじめ外部の専門機関との連携を進め、時代に先んじた学びを生徒に提供できる体制作りを進める。	
生徒指導	- 生徒の主体性を育むための指導方法について検討する必要がある。 - 行事日程の見直しが必要である。	- より良い人間関係構築に力を注いでいただいている。 - より主体的、自律的に考え行動できる生徒の育成をお願いしたい。
改善方策	- いじめ問題根絶に向け、生徒状況の早期把握、早期発見、早期対応と学校全体での情報共有に努める。 - ネットトラブル未然防止のための安全教室の開催や早期発見のためのネットパトロールを強化するとともに、日常から情報発信することにより生徒への啓蒙に努める。	
進路指導	- 進路目標の達成を目指した生徒の自主的学習への支援を充実させる。 - 早い段階からの進路意識の醸成を図るガイダンス機能を充実させる必要がある。 - 大学等をはじめ外部の専門機関との連携を進め、時代に先んじた学びを生徒に提供できる体制作りを進める。	「考えさせる」指導が良い効果を与えている。 - 生徒の自主性、自立性を促すための取り組みについて多様性が見られ良いことだと思う。 「社会で活躍できる人間を育てる」という考え方も大切なのでキャリア教育を推進していただきたい。
改善方策	- キャリア教育の観点から大学訪問、ミニ講義、先輩に聞く会等の教育活動を見直し、生徒自らが振り返りを行うことができる体制づくりをすることで教育効果を高める。 - グローバルな視点から教育活動を見直し、コロナ禍においてオンラインを積極的に活用した海外との交流を行い、生徒の異文化理解や多様性を尊重する意識を育てる。	
健康安全指導	- 課題を抱えた生徒や保護者に対し、SCやSSWと連携をとりながら対応することができ、必要な場合は専門機関へとつなげることができた。 - 定期的に会議を実施、生徒情報を共有したことは有意義であった。	- コロナ禍による生活習慣の変化で大きなストレスを抱えながら学校生活を強いられているため、生徒により一層細やかな配慮を今後もお願いしたい。 - 日常の学習以外の配慮について、専門家の力も借りながら安心安全な学校環境を整えて欲しい。
改善方策	- カウンセリング機能を充実させ、生徒の悩みや心の状態を早期に把握する。SCやSSWなどとの連携を更に深める。 - 生徒の健康面を配慮し、部活動の時間や活動内容等の見直しに取り組む。	
公表方法	ホームページに掲載	